

新旧コンクリート打継プライマー(エポキシ樹脂接着剤)

AT 448 (Alphatec 448)



アルファテック448は、新旧コンクリート打継面の一体化を図るためのエポキシ樹脂接着剤です。エアスプレーによる吹付け施工が可能のため大幅な工程短縮に寄与します。ジェットコンクリートや超早強コンクリート打設時のプライマーとして利用できます。

用途

- 新旧コンクリート、モルタルの打継ぎ面接着
- 気中及び湿潤コンクリート構造物の鋼板接着やアンカーボルトの定着
- 気中及び湿潤コンクリート構造物のひび割れ・打継ぎ・ジャンカ等の注入補修
- コンクリート保護工、防水工の下地処理
- セメントモルタルやレジンモルタルのタックコート
- 塗床の保護材

特徴

優れた作業性	エアスプレーによる吹付け施工により作業性が高まります。
優れた経済性	従来の塗布工法に比べ工程短縮が図れ、工費縮減・工程短縮に寄与できます。
高い接着性	新旧コンクリートの打継面に塗布することで、母材破壊する接着性能を有します。
低収縮性	揮発性溶剤を含みませんので、硬化収縮がほとんど無く、躯体に負荷を与えません。

施工方法

- エアスプレーによる吹付け施工以外でも、塗布による施工も可能です。
- 吹付け施工による標準施工量は、 $1\text{kg}/\text{m}^2$ です。

従来工法 デッキブラシによる塗り施工

なかなか
進まないなあ～



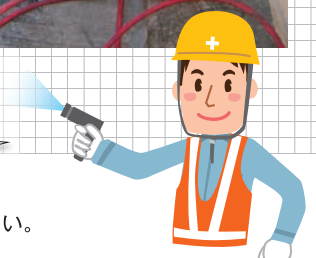
AT448 エアスプレーによる吹き付け施工



エアスプレーで
施工時間が大幅に短縮!

使用方法

- 施工面の汚れ(ホコリ、油分等)を除去してください。
- 主剤・硬化剤を2:1(重量比)で計量、混合し空気の巻込みに注意し充分に攪拌してください。
- 一度に混合する量は可使用時間内に使い切れる量とします。
- 施工は気温 5°C 以上の環境で行ってください。



① 性状 (20℃)

	アルファテック 448		
	主剤	硬化剤	混合液
主成分	変性エポキシ樹脂	変性脂肪族ポリアミン	
混合比(重量比)	主剤：硬化剤=2：1		
混合比重	1.3 ± 0.05	1.2 ± 0.05	1.25 ± 0.1
可使用時間	35分		
指触乾燥時間	6時間		
打継有効時間(対コンクリート)	4時間		

② 硬化樹脂の性状

試験項目	単位	試験方法	養生条件	アルファテック 448
圧縮強度	N/mm ²	JIS K 7208	20℃×7日	55
圧縮弾性率	N/mm ²	JIS K 7208	20℃×7日	2000
曲げ強度	N/mm ²	JIS K 7203	20℃×7日	40
引張強度	N/mm ²	JIS K 7113	20℃×7日	20
接着強度(建研式)	N/mm ²	JIS K 5400	20℃×7日	2.0 CF
新旧コンクリートの打継接着強度	—	JIS A 1106	20℃×7日	初期曲げ強度の80%以上
圧縮弾性率	N/mm ²	JIS A 7208	20℃×7日	
鋼材相互	N/mm ²	JIS A 5400	20℃×7日	
モルタル付着強度	N/mm ²	JIS A 6024	20℃×7日(乾燥)	6 MF
			20℃×7日(湿潤)	5 MF
衝撃強度	N・mm/mm ²	JIS K 7111	20℃×7日	4.0
硬度	ショアーD	JIS K 7215	20℃×7日	80

註1)MF:セメントモルタル破壊 CF:コンクリート破壊 COF:接着剤破壊

荷姿 10kg / 主剤：6.7kg(9L角缶) 硬化剤：3.3kg(4L角缶)

- 注意事項**
- 直接皮膚に接触すると、カブレを生じることがありますので、取扱いにご注意してください。
 - 樹脂が皮膚に付着した場合は速やかに拭き取り、石鹼水等でよく洗い流してください。
 - 取り扱いには保護具(保護メガネ、ゴム手袋、マスク等)を着用し、換気を充分に行ってください。
 - 目に入った場合は多量の水で洗浄し、医師の診察を受けてください。
 - 使用にあたっては、SDSをお読みください。